

**「小学生とともに
勉強しながら楽しむ」
子どもたちの学習支援委員会**

本活動は平成20年度を迎え4年目に入りました。多くの支援者によるひたむきな努力には頭が下がる思いがします。平成19年度の活動報告の一部を抜粋しお届けいたします。(中沢保夫記)

「なかよし学級の児童たち」

伊川谷小学校 西田圭一



子どもの体調等により、感情が左右されるときへの対応にとまどうことがあります。一方、順調にいく場合は、子どもは喜びと満足感を表すので、支援している我々も満足です。

平成20年4月以降、3年生の授業に環境学習が取り入れられます。そのことへの対応を校長先生から依頼されました。

「全教科にわたる少人数

学習指導補助」

木津小学校 宮崎芳江



3学期に担当の先生よりたんぼ学級の応援を頼まれ5回行きました。能力的には普通学級の子ともかわりないようみえます。しかし、全教科になるとじっと座ってられないこともあり、直ぐに飽きてしまい、やはり無理かなと思いました。

普通学級にも、ハンディを乗りこえ頑張っている子どもがいますが親の意向で普通学級に入れたいというケースがあります。子どものことを考えれば、普通学級とたんぼ学級の両方をうまく行き来して学習をする方が幸せだと思います。私がみた子どもたちはとても楽しく過ごしているように思いました。

「算数の学力促進教室」

桜が丘小学校 福家博子

参加児童は保護者の了承のもと希望する3、4年生である。放課後の6校時を利用して学年の係りの先



生と一緒に和やかな雰囲気
気で取り組んでいる。

個々の学力に合ったプ
リント2~3枚が用意さ

れており、考え方とやり方を説明し、採点して励ます。また、タイミングよく声をかけて褒める。あくまで児童のやる気を助けるのがボランティアである。

冗談を言い合ったり、折り紙をおみやげにしたり、児童と親しみ仲よくなるのが、大切だと思っている。

学習支援活動照会先

グループわ 本部事務局
学習支援担当 加藤・増金
TEL 743-8101
FAX 743-3830

「特別支援活動の1年間を終えて」

東町小学校 黒本嵯登美

支援という程のことはなにもしてなかったのですが、子どものそばにより添い一緒に授業を受けたり、遊んだり私の方が楽しくすごさせてもらえました。

小学校での学習の進め方、行事の様子をかい間見せてもらい、勉強になりました。週1回だけで本当に学校のお役に立っているのか・・・が気になるところです。

最後の日に、その子のお母さんからお手紙をいただき、その子が私の行く日を楽しみにしていたということを書いてくださっていたのがうれしかったです。

季節の草花

ドクダミ

生8-文 久保 知彦

ドクダミは日陰の湿地に自生する植物で、黒ずんだ葉の縁は赤みを帯びており、独特のにおいがあるのと、名前からして毒がありそうですが、昔から「十薬」という名で、万病に効く薬草として知られています。

ドクダミの名の由来は「毒溜み」「毒矯め」「毒痛み」「毒彩」など、色々あるようですがよくわかりません。

ドクダミ科の多年草で日本全土に分布します。4枚の白い花びらのように見えるのは、苞(ほう)と呼ばれるもので、花びらはなく、紡錘状の黄色の部分に雄しべの先端が密集して、これが花です。

生の葉を化膿した部分に貼ると膿を吸い出す効果があり、あせも・湿疹には「ドクダミ風呂」もありますが、においが強烈なのでどうでしょう。

乾燥すると臭いなくなり、これを煎じて飲むと、利尿作用・緩下作用・血圧降下などの効果があります。化粧水の材料にもなります。

塩ゆでしてから、てんぷらや、味噌とみりんであえて食べることができるようです。

「どくだみや 真昼の闇の
白十字」

川端茅舎

